

山行報告書

報告書作成

2008年8月13日

山名 [山域]	大日岳～奥大日岳	目的と方法	花と展望とトレーニング
登山期間	2008年7月26・27日	山行形態	周回
参加人数	2人		

行動記録

25日(金)岡崎(20:33) = 豊田東IC(20:44) = ひるがのSA(22:16 22:30) = 飛騨清美IC(22:44) = 流杉PA(24:00泊)

26日(土) 流杉PA(4:36) = 桂台称名道路ゲート前(5:25 6:00) = 称名滝P(6:05:6:35) - 登山口(6:52) - 牛ノ首(8:06) - 大日平小屋(9:20 9:48) - 水場(10:40 11:05) - 最後の水場(11:45) - 大日小屋(13:10 14:30) - 大日岳(14:45 15:15) - 大日小屋(15:25)泊

27日(日) 大日小屋(5:00) - 奥大日岳(7:10 7:20) - 雷鳥平(10:00) - 室堂ターミナル(10:50 11:20) = 立山駅(12:35 13:00) = 称名滝バス停(13:15 14:30) = ウエルサンピア立山(15:45 15:33) = 富山IC(16:28) = 城端(16:59) = ハイウェイオアシス桜ヶ池クアガーデン(17:30発) = 白川郷IC(17:52) = ひるがの高原SA(18:32) = 美並IC(19:22) = 豊田東IC(20:54)

概念図



日誌

流杉PAにてテント泊・狭くトラックが多くてうるさい。平地の為この時期は暑くて仮眠には不適な場所です。流杉はETC専用出口のみ。

桂台称名滝ゲートは7月～8月はAM6:00～19:00.その他の時期は7:00～18:00 通行可能。ゲート脇にトイレ有。

称名滝バス停には広い駐車場があり、トイレ完備。

称名滝バス停から15分歩いた先に登山口がありここからジグザグにつけられた急登が牛ノ首まで続く。牛ノ首の岩場をすぎれば広い大日平の草原の中の木道が大日平小屋まで続く。あったかい番茶のサービスに疲れもとれ谷に沿った急登をのぼれば森林限界の稜線へ飛び出し大日小屋に着く。

今年は雪解けが遅くチングルマはこれから。小屋の稜線脇には雪渓が多く残っている。

大日小屋にはテント場がないため小屋泊。この日は満員で 団体が到着する前に早々と夕食?をとり大日岳でのんびりと剣岳を眺める。贅沢な時間が流れる。

翌日は5:00に小屋を出発。途中で朝食をとる。朝早くから東の方で雷がきこえているがここは晴れていて剣。立山連峰のパノラマを楽しみながらの快適な稜線歩きを楽しむ。雷鳥平あたりから大勢のハイカーとのすれ違いにきをつけながら室堂ターミナルへ急ぐ。下山に使う八郎坂の情報を得ようとするが山岳警備隊でないといわからないといわれまた雲行きが怪しくなってきた為八郎坂は止めて立山駅からバスで行くことに決める。

駐車場に着いたら雨となり 行きにみれなかった称名滝へ傘をさしていく。とちゅうから激しい雷雨となり迫力のある滝見物となった。

感想

今回のこのコースはハードなコースとなります。通常は室堂から称名滝へ下山。この日も殆どの方がそうでした。

トレーニングの意味で逆コースで行きました。下山に使う予定だった八郎坂は情報収集不足と雷雨の中急坂を下るのを避けたかった為中止しました。

立山連峰は多くの雪渓が残っていて眺めるには素晴らしい。また高山植物も今から最盛期を迎えます。